

菊池 恵理子

C 福島県スパリゾートハワイアンズコース

このツアーに参加して強く感じたのは、「現地に足を運んでみないとわからないことがたくさんある」ということです。

立ち並ぶ仮設住宅。津波に襲われて、基礎だけが残っている家々。地盤沈下で、砂浜の部分がわずかになった海辺。防波堤が破壊されて、大きな土嚢袋が連なる海岸線。がれきの山。そして、今後の除染作業を待っている木や草花。

テレビや新聞の報道では、それぞれ別個のもののように思っていたものが、切り離すことができない、大きなつながりを持ったものだと思えてとらえることができました。

道路の案内標識に、相馬・双葉の地名を見た時は、軽い衝撃を覚えました。原発事故以来、幾度となく目にしてきた地名。その土地がこの先にある今、福島の地にいるのだという現実がわかってきました。いわき市外に避難した人々、いわき市内に避難してきた人々。混乱の中で、人々がどんな生活をし、どんな想いを抱いているのか、そのことについて、今までじっくりと考えたことがなかったので、想像力を広げ、より深く、より広く考えていかねば、と痛感しました。

スパリゾートハワイアンズ、アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウ。それらの施設は、一見、何事もなかったかのようににぎわっていましたが、震災当日の様子やこれまでの道のりを伺うと、大変なご苦労があったのだとわかりました。また、現地の校友の方々のお話は、丁寧かつ緊迫感にあふれたもので、「知って欲しい」という想いにあふれていました。

「ずっと関心を持ち続けていて欲しい」との言葉を胸に刻み、まずは、身近にいる人々に、このツアーで見たこと、聞いたこと、感じたことを伝えていきたいと思っています。

実り多き旅でした。皆様、ありがとうございました。